

皮膚科

研修医

茂木大輔

出身地 群馬県
出身大学 新潟大学



「先生、皮疹が…」

何科に進んでも患者さんの皮膚のトラブルはつきもの。蕁麻疹や疥癬などのcommonな疾患から、天疱瘡や乾癬といった専門性の高い疾患まで、様々な皮膚疾患を系統的に学べます。

患者さんの皮膚トラブルに
自信がつくこと間違いなし!!

百聞は一見に如かず。観ることが診察の根本で五感が最たる診察道具です。目で手で耳で診て、そして嗅いでもみる。皮膚科は経験主義科学の最たるものです。皮膚に表れた症状が語る事実の何に着目するのか、何を大切だと考えるのか、多くの症例から発疹がただの“ブツブツ”で終わらないよう皮膚症状の質を見極める訓練を行います。その経験は一生の宝物となり、終生役に立つものです。また褥瘡疾患を通してコメディカルの人達とのチーム医療を経験することが出来ます。充実した研修の一助となるでしょう。

▶▶▶ 全身をくまなく診ないと見逃します。大変な事になりますよ。

出題

皮膚科指導医
和泉純子

症例) 50代男性。進行胃癌の治療目的で当院に紹介受診。写真のような皮膚症状を認めた。

- ①提示した臨床写真以外に疑って診察すべき部位はどこか
- ②考えうる疾患はなにか
- ③次にチェックすることは何か



産婦人科

研修医

窪田晃

出身地 新潟県
出身大学 東邦大学



長中の産婦人科は

県内正常分娩数No.ワンです。

実際に分娩前後の処置をやらせてもらったり、帝王切開の執刀もさせてもらえます。また、腹腔鏡手技の教育体制がしっかりしていて24時間練習できる設備が整っています。やる気さえあればとことん学ぶことができる。

産婦人科に興味があればぜひ、
選んで後悔はしません!

▶▶▶ 症状の変化も重要

出題

産婦人科指導医
加勢宏明

以前より子宮内膜症にて外来で管理している40才代女性。定期受診の経膈超音波です。以前より月経痛が強くみられましたが、最近急に減少しているとのこと。

